

急斜面の補強対策工

急斜面の補強対策工 事例紹介

調査

日本の国土はその90%が山岳地帯であり、更にその20%は地すべり、崖崩れ、落石・岩盤崩壊等を引き起こす危険地帯と言われております。これらの危険地帯には一刻も早く対策工を施し、住民の方々が安心して暮らせるようにしたいものであります。

弊社はこのような危険地帯に対し、

地形的・地質学的・地盤工学的な地盤・岩盤の調査

水文・地下水・水みちの調査

断層・破碎帯・風化・劣化状況の調査

等を行い、次の対策工の設計に役立てます。

設計

調査結果に基づき、その適切な対策工(抑止工, 抑制工)を選定し、設計を行います。

対策工完成後の監視・観測・点検

対策工の実施後も、必要な箇所には定点観測場所を設け、その後の地盤・地下水その他の観測等を行います。

調査実施例

下の写真は最近弊社が調査した岩盤崩落地域の危険箇所の一例であり、調査結果に基づいて、対策工の提案を行いました。



お問い合わせ：



総合建設コンサルタント

中央開発株式会社

URL: <http://www.ckcnet.co.jp/>

【お客様窓口】

関東支社 担当：篠原・安藤・緒方

埼玉県川口市西青木 3-4-2

TEL 048(250)1401 FAX 048(250)1410

【技術サポート】

関東支社 土木設計部 担当：金矢・粕谷・大館・荒井

埼玉県川口市西青木 3-4-2

TEL 048(259)6311 FAX 048(259)6315